

令和3年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動関係者研修会 (県北地区：平戸市) 概要

1 日 時 令和3年11月9日(火) 13:30~16:30

2 会 場 生月町中央公民館

3 参加者 計38名

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進するために、子どもの育成に携わる地域と学校の関係者が一堂に会し、講義や実践発表、グループ協議を通して、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について理解し、実践につなげることをねらいとして実施しました。

4 内 容

- (1) 講 義 ①「コミュニティ・スクールについて」
長崎県教育庁義務教育課
②「地域学校協働活動と地域学校協働本部について」
長崎県教育庁生涯学習課
- (2) 実践発表 「西海市立大瀬戸小学校 コミュニティ・スクールの実践」
西海市立大瀬戸小学校学校運営協議会
地域コーディネーター 佐々木 義信 氏
事務局 竹口 健一郎 氏

実践発表では、「学びの出口を地域につくる～地域・学校を活性化させるのは人だ～」と題して、「コミュニティ・スクール導入から4年間のあゆみ」「学校運営協議会を運営していくにあたって大切にしていること」「コロナ禍での取組」「成果と課題」等についてお話いただきました。



参加者からは、「学校と地域の連携・協働の姿として、大瀬戸小学校の実践例は大変興味深かった。」「コミュニティ・スクールの実践や仕組みについて知ることができてよかった。自分の地域においても、特色や地域性を考慮しながら取組の参考にさせていただきたい。」などの感想が寄せられました。

(3) グループ協議

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を進めていくためには、まずは、学校運営協議会(学校支援会議)等で、地域と学校が子どもを育てる共通の目標(目指す子ども像)を共有することが大切です。そこで今回、地域関係者と学校関係者がグループ協議により、地域と学校が連携・協働できることについて考えていただきました。



参加者からは、「課題や取組など、他校との共有や今後の参考になることがありこれからの方向性を考えることができました。」「メンバーがそれぞれに持っているイメージや目指したいところがクリアになりました。地域と学校がコミュニケーションを密にし、お互いのニーズを共有することが大切だと感じました。若い人が地元で活躍したいという願いが実現できるような支援を期待している。」などの感想が寄せられました。